



2023年8月10日

各位

会社名 東海汽船株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 山崎潤一  
 (コード番号 9173 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役管理本部長 倉崎嘉典  
 (TEL 03-3436-1131)

### 2023年第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期第2四半期累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最新の業績動向を踏まえ、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

##### 第2四半期連結業績予想と実績値との差異(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,320	百万円 △620	百万円 △550	百万円 △330	円 銭 △150.36
実績値(B)	6,098	△823	△734	△629	△286.88
増減額(B-A)	△221	△203	△184	△299	
増減率(%)	△3.5	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	5,919	△708	△736	△404	△184.28

##### 第2四半期個別業績予想と実績値との差異(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,600	百万円 △520	百万円 △410	百万円 △280	円 銭 △127.58
実績値(B)	4,472	△690	△574	△560	△255.19
増減額(B-A)	△127	△170	△164	△280	
増減率(%)	△2.8	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	4,494	△375	△377	△254	△116.02

## 2. 2023年12月期通期業績予想の修正

通期連結業績予想の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,270	百万円 80	百万円 130	百万円 100	円 銭 45.56
今回修正予想（B）	13,716	△331	△266	△245	△111.63
増減額（B－A）	△554	△411	△396	△345	
増減率（％）	△3.9	—	—	—	
（参考）前期実績 （2022年12月期）	13,929	452	299	180	82.36

通期個別業績予想の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 10,700	百万円 50	百万円 170	百万円 130	円 銭 59.23
今回修正予想（B）	10,236	△330	△222	△210	△95.68
増減額（B－A）	△464	△380	△392	△340	
増減率（％）	△4.3	—	—	—	
（参考）前期実績 （2022年12月期）	10,416	205	60	83	37.88

## 3. 業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正の理由

2023年12月期第2四半期の業績は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行など、観光需要の回復を見込んでおりましたが、繁忙期の天候不順などにより、この第2四半期累計期間までの乗船客数は、コロナ禍前の約8割の水準に留まりました。また、費用面では、船舶整備関連費用などの増加により、売上高及び各利益は前回予想を下回る結果となりました。

また、最多客期である夏の利用客の回復に鈍さが見られることから、連結及び個別の通期業績予想を修正いたします。

以上